

地方創生でまちづくりを 町長施政方針の概要

平成31年度を目標年次とした坂町第4次長期総合計画に基づく諸事業は順調に成果を上げているが、後半を迎える平成27年度は、これまでの取り組みの検証を踏まえ、さらに充実した事業を推進していく。

自らが生まれた地域で、学び、働き、地域を支えるという「地域内循環」ができるまちづくりが「地方創生」であると考え、今年度は「坂町人口ビジョン」および「坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、坂町の将来像である「自然に恵まれた健康で文化的な住みよい町」の実現を目指し、町民と行政がまちづくりの目標を共有し、お互いの協力により、「小さくてもひかり、輝きのあるまち」にするため、全力を挙げて、諸事業に取り組む。

*全文は、町広報4月号に掲載



貸出用の3人乗り自転車



前回発行のプレミアム商品券

平成26年度補正予算で 平成27年度に繰り越す主な事業

子育て支援などと プレミアム商品券の発行

- 地方創生先行型事業**
2千326万円
- ①坂町人口ビジョン、坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定 (600万円)
 - ②小屋浦地区都市再生に伴う基本構想策定業務 (360万円)
 - ③地域見守り、防犯パトロール (66万円)
 - ④子育て支援保育環境改善 (800万円)
 - ⑤3人乗り自転車購入 (120万円)
 - ⑥子連れお出かけ安心マップ作成 (70万円)
 - ⑦子育て支援講演会など (250万円)
 - ⑧社会科副読本「わたしたちの坂町」 (59万円)

- 地域消費喚起・生活支援型事業**
1千550万円
- ①プレミアム商品券発行事業1万2千円の商品券を1万円が発行
 - ②子育て支援
 - ・子ども2人の場合は1万2千円の商品券を9千円が発行
 - ・子ども3人以上の場合は1万2千円の商品券を8千円が発行

サンスターホールへ太陽光発電

主な事業内容



再生可能エネルギーの活用

防災拠点

サンスターホールへ 太陽光発電・蓄電池を設置

昨年9月開館した坂地区の防災拠点であるサンスターホールに太陽光発電と蓄電池を設置する。事業費2億2千400万円は、全額「公共施設再生可能エネルギー等導入事業」補助金を活用。

安全・安心

海岸保全施設県営事業 ・ベイサイドビーチの整備

県営工事2千900万円の坂町負担は1/10の290万円。その内訳は情報伝達システム90万円と水尻駅との連絡橋調査設計費200万円。

・横浜海岸離岸堤残り1基設置

離岸堤4基のうち、残り1基を設置する。県営工事1億9千万円が予定されており、うち1/10が町負担で1千900万円。

施設の長寿命化

海洋センタープール改修

6千700万円

大規模改修から13年が経過し、上屋鉄骨の塗装及び床面のはがれがあり、プール本体の塗装もはがれており、改修し長寿命化を図る。B&G財団から1千400万円の助成。



安全に泳ぐために



残り1基の離岸堤



魅力づくりで年間活用を